

大河原 ロータリークラブ会報

会長：奥林 潔 副会長：岡崎 隆
幹事：本木 拓也 副幹事：高橋 大志

広報・IOC 委員長：佐藤 克美
副委員長：山家 正信
委員：鈴木 孝典



2021~2022年度
国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために
**SERVE TO
CHANGE LIVES**

2021~2022年度IR会長 シェカール・メータ
国際ロータリー第2520地区 鈴木 俊一
2021~2022年度ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 例会場：和洋亭ぶざん 柴田郡大河原町字新南 25-18 TEL 0224-51-1113

2021年11月4日(木) 第2591回例会

会長あいさつ

会長 奥林 潔



皆さん、今日は！

新型コロナの流行が信じられないほど沈静化しています。そこで、少し時間を頂いて、私の最近の出来事をお話します。

だいぶ前に隣町でインド人会社経営者が殺害される事件が起きたことを覚えておられるでしょうか。私は、その事件の強盗殺人容疑で逮捕されたパキスタン人従業員の国選弁護人として関わり、裁判員裁判による連続開廷を経て、先週金曜日に判決を受けました。

殺害の実行犯は、不法残留者として強制送還されており、黒幕の主犯もこの前逮捕されたのですが、その男は犯行への関わりを否認し続けたことから、釈放されて帰国しました。私が担当したパキスタン人従業員は、その会社のナンバーワンの立場にあり、事件のことを良く知っているのはこの従業員しかいなかったのです。この従業員は、たまたま別の用事もあって、他の従業員を連れて社長に会いに行ったところ、社長がその従業員を罵倒して怒らせて殺害されたのです。私が担当した従業員は、捜査に協力してくれたら二倍のお礼をされると言われて、捜査に協力して説明したところ、共犯者として起訴されました。捜査段階の通訳人がかなり問題のある人なので、私から検察庁に申し入れをして、通訳人を代えて貰ったのですが、その通訳人による悪影響が残って有罪判決となったのです。刑事専門の裁判官であれば、証拠不十分として無罪判決をしていたと思われれます。今回は裁判員による裁判。皆さんの誰もが、いつどういうことで巻き込まれるかも知れない出来事です。

会長の話に戻ります。

本木幹事が体調を崩して、欠席です。

会長は、幹事がいないと手足をもがれたようなもの。“親亀がこけたら、子亀もこける”私は、身を退こうかなと思いました。というのは、私の仕事がとても忙しくなっており、また、原田会員の退会理由や更に退会者が出るかも知れないと聞かされ、副幹事であった高橋大志君から退会事情を詳しく聞いたからです。

しかし、オンライン理事会のSMS+メッセージを見ると、本木幹事の体調不良を知った岡崎副会長が積極的に動き出しており、庄司会員も仮幹事を引き受けることにしました。本日のスピーチは、藤江会員と山家会員のベテラン二人が担当します。大河原ロータリークラブは、いざとなると結束することが良く分かり、心強く思いました。“雨降って地固まる”

11月21日(日) 開催予定の「米山奨学生・学友会リンゴ狩り」は、「春先の遅霜、夏の高湿障害によりリンゴの不作でもぎ取り不能、及びコロナ過で大人数での会食受け入れ先が無くやむなく中止することといたしました。」との連絡が入りました。

今月の誕生記念は21日が鈴木孝典会員、結婚記念は2日が武山雄二会員、18日本木拓也会員、22日佐々木由美子会員です。おめでとうございます。

スマイルBOXの報告

委員 武者 昌洋

八島 幸夫 会員：欠席が続きました。

- 奥林・本木丸、出航おめでとうございます。1年間がんばって下さい。
- 10月2日、結婚記念日のプレゼント届きました。ありがとうございます。

山家 正信 会員：米山スピーチ、大変お世話に成ります。盧・ギョウホウさんは本日京都の方へ研修に行つて居ります。

高橋 英明 会員：先月58歳になってしまいました。ケーキ、家族でおいしくいただきました。ありがとうございました。

甘糟 仁 会員：皆様お久しぶりです。9月は結婚記念日のお祝いありがとうございました。

藤江裕佳里 会員：今日は社会奉仕委員長としてスピーチさせていただきます。お耳を傾けて頂ければ幸いです。グエンさん、9月28日 3488gの男の子を出産しました。大輝くんです。

小田部晃二郎 会員：よいお天気ですネ！道ばたのドウダンツツジが紅くなってきました。

米山BOXの報告

委員長 山家 正信

奥林 潔 会長：勉学する学生のため。

八島 幸夫 会員：少しずつ積立ます。

山家 正信 会員：少しずつです。

世界ポリオ根絶活動協力金の報告

八島 幸夫 会員：少し。

小田部晃二郎 会員：1口ですみませんが、役に立ちたいです。

津田 政行 会員：ポリオ撲滅のために。

山家 正信 会員：少しですが宜しくお願い致します。

甘糟 仁 会員：ポリオ撲滅を祈ります。

佐々木由美子 会員：ポリオが撲滅しますように。

高橋 英明 会員：ポリオ撲滅を願って。



こんにちは！

今年度社会奉仕委員長を務めます藤江裕佳里です。副委員長の樽見会員とともに活動致しますので宜しくお願い致します。早速先月は10月24日の世界ポリオデーに合わせ、本来ですとオータムフェスティバルでの活動で得た資金を拠出しておりましたが、新型コロナ感染症の為オータムフェスティバルも昨年同様開催出来ず、今年も今月までおひとり3000円のご協力をお願い致しましたが宜しくご協力願います。

さて、ロータリーは世界に向けて良いことをしようとして活動をしている事は皆様ご承知の通りですが、先月RIから届いた会員増強報告書の中に2000年のロータリー会員調査が掲載されており、2020年入会者の「なぜ入会したか」の解答が46%が地域社会で奉仕する為。17%が友情の為と解答。さらに2020年現在「なぜクラブにとどまるのか」と聞いたところ42%が地域社会で奉仕する為。38%が友情の為。6%が個人的成長の為という調査結果でした。

大河原ロータリークラブでの調査結果は判りませんが、地域に向けて何か良いことをしようという心をお持ちでと私は受け止めています。

このことを受けて今年度はクラブ運営計画書に記載の通り

- 地域社会に必要とされ貢献できる奉仕活動の実施
- 先ほどお願いしたポリオ撲滅運動への支援
- 地区財団補助金の活用
- コロナ感染症の為中止になりましたが9月12日地球環境保全デーに協力してのロータリー奉仕デーへの参加

大きく4点計画して活動していますがコロナ感染症の為思うようにいかないのはご承知いただけたと思います。しかしながら、コロナ感染症の患者数もなぜか減少傾向にありますので、残りの半年間でまだできることがあるのではと思い皆様のお知恵を拝借いたしたいと今回のスピーチもお引き受けしました。

地区補助金の活用という点ではこのところ

- 樽見会長年度に申請のえずこホールのアウトリーチ活動への支援——藤江年度実施
- 藤江年度申請のロータリーの標語看板の塗装書き換え——甘糟年度実施
- 甘糟年度申請の桜保育所建て替えに伴う遊具の贈呈——奥林年度実施

ほとんど必要な資金の半額をロータリー財団からの支援で可能ですので、皆様の周りにある地域社会に必要とされていてクラブとして活動できることがありましたら教えていただきたいと思います。

私がロータリーに参加させていただいてから18年目になりますが、新入会員の時には情報委員会がロータリーについての勉強会を開催してくださり、入会3年以内の会員が参加してロータリーとは？など先輩会員から教えていただき、引き続き懇親会を持つときがありました。最近はこれもコロナ感染症で開催されず残念に思います。その時に頂いた20周年記念誌が手元にあり、今回開いてみましたら設立から20年間の社会奉仕委員会の記録も掲載されていました。コピーをお渡ししますのでこの機会に地元大河原にどのような社会奉仕活動をしてきたのかを振り返ってみてください。

例えば1970年度の日下千太郎会長年度や、1977年度の小田部晃会長年度等々様々な活動があります。しかしながら先ほどお伝えした財団の補助金ではなく、会の資金の中で50年にわたり活動してきたこと等あまり知られていないこと、これでいいのかなという思いも抱きました。

本日は語りつくせないこともあります。社会奉仕委員会活動をしているうえで感じていることをお話しさせていただきます。

ご清聴頂きありがとうございました。



皆様こんにちは！ 米山記念奨学会委員長の山家正信と申します。本来でしたら米山奨学生の盧暁鳳さんと共に出席する予定でしたが、彼女は研修会で京都の方へ昨日3日より8日迄行って居り、残念ながら欠席です。先月は10月27日（水）柴田RCの方へスピーチに行って参りまして、今月は10日（水）に村田RCの方へスピーチに行く予定に成って居りますので、本日は失礼致します。

遅ればせながら、先月は「米山月間」でしたが、お話しする機会が有りませんので、今日、会員スピーチで“よねやま”を知ろう！と云う事で少しお話しさせていただきます。

日本ロータリーの創始者・米山梅吉（1868年～1946年）は、慶応4年生まれで昭和21年に亡くなりましたが、生前の功績をたたえ、後世まで残る有益な事業を行いたい——。彼は東京RCの創設者であります。ロータリー米山記念奨学事業とは？ 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会（以下米山奨学会）は、日本のロータリーが協同で運営する民間奨学団体です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。

何故、外国人留学生を支援するのか？ この事業は1952年、東京RCが発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい——。東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したい云う、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

先月の10月3日（日）米山記念奨学会のカウンセラー研修会が仙台市の江陽グランドホテルでありました。本来なら盧暁鳳さんと共に13名の奨学生も含め多くの会員（50名以上）と出席する予定でしたが、仙台ではまだコロナ禍で有り、ワクチンの接種を受けていない留学生もいると云う事で、全員が集まる研修会ではなかったのですが、多くの方がお話しし、意義のある研修会でした。出席は30名程でした。

その中で、地区別寄付実績（2020-21年度）2020-21年度の平均寄付額は一人当たり15,516円で最も多い地区は第2590地区・神奈川県（横浜市・川崎市）で27,421円でした。また、特別寄付者割合の全国平均は46.4%でした。

因みに第2520地区（岩手県・宮城県）は、3法人・個人19.2%の7,708円です。

日本全国34地区の下から2番目で、最後は第2500地区（北海道東部）6法人・個人17.8%で6,293円でした。第2530地区（福島県）は15番目で、1法人・個人50.2%で一人当たり14,399円です。第2540地区（秋田県）は3法人・個人30.4%で8,957円です。第2830地区（青森県）は、0法人・個人43.1%、9,527円です。第2800地区（山形県）は26番目で32法人・個人36.2%で、11,334円です。

この様な状況で、米山奨学寄付金は大変少ないですので、皆様、何かとコロナ禍で厳しい経済状況ですが、一人当たり1万円を目標に寄付を宜しくお願い致します。この様な中で来年度の第2520地区の米山記念奨学生の数は3名減の10名の予定と厳しい現実です。皆様の米山記念奨学豆辞典を良く御覧いただきまして、御協力の程、宜しくお願い致します。

大変失礼ながら、これにて会員スピーチとさせていただきます。御清聴誠に有難うございました。